



平成 28 年 5 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社ケアサービス  
(コード 2425 : 東証 J A S D A Q)  
代表者の役職名 代表取締役社長 福原 敏雄  
問 合 せ 先 取締役執行役員副サポートセンター長 福原 俊晴  
電 話 番 号 03-5753-1170

### 中期経営計画の提出等について

当社は、平成 29 年 3 月期～平成 31 年 3 月期に係る中期経営計画を策定いたしましたので、当該中期経営計画を記載した資料を提出いたします。

なお、以下のとおり、当該中期経営計画について、投資家向け説明会を開催いたします。

開 催 日 時	平成 28 年 5 月 26 日 13 : 30～14 : 30
開 催 場 所	公益社団法人日本証券アナリスト協会 第 3 セミナールーム (東京都中央区日本橋兜町 3 - 3 兜町平和ビル 3 階)

【添付資料】平成 29 年 3 月期～平成 31 年 3 月期 中期経営計画

# 平成 29 年 3 月期～平成 31 年 3 月期 中期経営計画（新規）

## 1 今後 3 ヶ年の中期経営計画

- (1) 当中期経営計画提出時点における前事業年度の総括  
(計画の達成状況、成果及び今後の課題)

(内容)

前事業年度の売上高は、デイサービスにおいて当社ドミナント戦略を展開している東京 23 区で最も高い地域区分単価がデイサービスの 9 割以上の事業所で適用されたこと、さらに、サービス提供体制強化加算、中重度者ケア体制加算の取得、日曜営業の開始などが寄与し増加しました。また、エンゼルケア事業、サービス付き高齢者向け住宅事業も順調に推移し、増収となりました。また、平成 27 年 8 月 8 日、中国の上海市に完全子会社である「上海福原 護理服務有限公司」を設立し、日本式の質の高い介護の中国における提供を推進しております。売上高は計画比 2.9%増となりました。

営業利益は計画比 8.8%減、経常利益は計画比 5.7%増、親会社株主に帰属する当期純利益は計画比 14.3%増となりました。

- (2) 中期経営計画の策定の背景及び概要

(内容)

### ①策定の背景

介護業界におきましては、国内の高齢化が進む中、介護サービスの需要は高まり、介護サービス受給者数及び介護給付費は増加しております。その一方で、介護サービスを提供するために必要な有資格者をはじめとした人材の確保が、介護事業者にとって引き続き大きな経営課題となっております。

また、平成27年4月には介護保険法が改正され、介護スタッフの賃上げにつながる処遇改善及びサービスの質の向上に取り組む事業者には加算を拡充する一方で、増大する介護費用を抑制するために、介護サービス全体で平均して4.48%の報酬単価の引き下げが行われました。

このような状況の下、当社グループは早くより今後の介護業界の変化を見据えた戦略の見直しを実施し、既存事業の強化及び業務効率化を目的とした体制強化と先行投資を実施してまいりました。

### ②中期経営計画の概要

当社グループは「介護からエンゼルケアまで」一貫したサービスを提供しており、展開しているデイサービス・訪問入浴サービス・訪問介護サービス・居宅介護支援サービス・福祉用具貸与サービス・特定福祉用具販売・ショートステイサービス、サービス付き高齢者向け住宅事業、エンゼルケア事業と事業相互間でシナジー効果を生み出しやすい事業構成となっております。また、平成 28 年 7 月より、訪問看護事業を開始する予定であり、これにより「介護からエンゼルケアまで」一貫したサービスに磨きがかかり、介護と医療の連携の強化、既存事業のレベルアップを図ってまいります。さらに中国子会社「上海福原護理服務有限公司」の介護サービス提供の本格化を図ってまいります。

中期経営計画においては、当社グループ独自の事業構成をフルに活用し、大きなシナジー効果を生み出すことを目標として、各事業の戦略を定めております。なお、各事業の戦略は下記となります。

<介護事業>

- ・東京23区を中心としたドミナント戦略の推進及びドミナントエリア内の事業所の効率化、人員の最適化
- ・デイサービスの日曜営業の稼働率向上
- ・訪問入浴サービス、居宅支援サービスにおける加算の取得
- ・「上海福原護理服務有限公司」による中国での介護事業推進
- ・訪問看護事業の開始

<エンゼルケア事業>

- ・各地域の優良な互助会及び葬儀社と構築した良好な関係の維持・発展による営業基盤の充実化

<サービス付き高齢者向け住宅事業>

- ・地域に根差した営業展開を継続し、「終の棲家」としての看取り介護を実施することで、入居者とご家族にご安心頂ける施設の運営

(3) 事業の進捗状況及び今後の見通し並びにその前提条件

(内容)

当中期経営計画は新中期経営計画の初年度にあたるため、進捗状況については該当ありません。

## 2 今期の業績予想及び今後の業績目標

(単位：百万円)

(%表示は対前期増減率)

		平成 28 年 3 月期 (実績)		平成 29 年 3 月期 (予想)		平成 30 年 3 月期 (目標)		平成 31 年 3 月期 (目標)	
		金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売 上 高	介護事業	6,060	—	6,312	4.2	6,615	4.8	6,707	1.4
	エンゼルケア事業	1,684	—	1,686	0.1	1,756	4.1	1,827	4.1
	サービス付き高齢者 向け住宅事業	555	—	583	5.0	606	4.0	600	△1.0
	合計	8,299	—	8,581	3.4	8,978	4.6	9,136	1.8
営業利益		242	—	283	16.8	310	9.5	274	△11.4
経常利益		255	—	278	8.8	304	9.5	269	△11.7
親会社株主に帰属する 当期純利益		146	—	158	8.1	176	11.1	156	△10.9

※当社は、第 25 期（平成 28 年 3 月期）より連結計算書類を作成しているため、前期との比較を記載しておりません。

- 業績予想及び業績目標の前提条件・数値根拠  
(内容)

## ※ 平成 29 年 3 月期 予想

- エンゼルケア事業につきまして、1 店舗の新規開設を予定しております。
- デイサービス 1 店舗の移転を行い、15 名の定員増を予定しております。
- デイサービス 14 店舗にて実施している日曜営業の稼働率向上を図ります。
- 訪問看護サービス 1 店舗の新規開設を予定しております。
- 既存事業所の稼働率・入居率向上を図ります。

## ※ 平成 30 年 3 月期 目標

- エンゼルケア事業につきまして、1 店舗の新規開設を予定しております。
- 訪問入浴サービスで 1 店舗の新規開設を予定しております。
- 訪問看護サービス 2 店舗の新規開設を予定しております。
- 既存事業所の稼働率・入居率向上を図ります。

## ※ 平成 31 年 3 月期 目標

- 平成 30 年 4 月に介護保険法改正が予定されており、さらなる介護報酬減額が想定されます。それに伴い、介護事業の平均単価を下げて予想しております。
- エンゼルケア事業につきまして、1 店舗の新規開設を予定しております。
- 訪問看護サービス 2 店舗の新規開設を予定しております。
- 既存事業所の稼働率・入居率向上を図ります。

以上